【発行】
沖縄県 商工労働部 雇用政策課
TEL…098-866-2324 FAX…098-866-2349
mail…aa059100@pref.okinawa.lg.jp

【編集・制作】
株式会社 琉球新報開発

沖縄県では、障害のある方の就労を応援する情報紙「まじゅんワーク」を関係機関の協力の下、発行しています。「まじゅん」とは、ウチナーグチで「共に」「一緒に」を意味します。「まじゅんワーク」は、障害のある方と健常者とがお互い支え合いながら“共に歩む”職場づくりを応援し、働く人、企業、関係機関や制度などを紹介してまいります。この紙面を通じ、障害者雇用の支援の輪が広がることを願っています。

まじゅんワ～ク

平成29年11月号

障害者等雇用事例周知啓発事業

ご感想お待ちしております！

Tosho Card 全国共通図書カード

ご感想や障害者雇用についてとりあげてほしいトピックをお送り頂いた方の中から、抽選で5名様に図書カードプレゼント！

ご感想の送付先
「まじゅんワーク」ご感想係
〒900-0001 沖縄県那覇市港町1-16-1（7階）
TEL…098(865)5533 FAX…098(865)5281
mail…majyun@shimpo-k.co.jp
メールからのご感想はQRから→

第17回 沖縄県障害者技能競技大会（地方アビリンピック）入賞者

ワードプロセッサ（Word文章作成・編集作業等）
- 金賞 ㈱Compass 伊保鈴子
- 銀賞 就労サポートセンター ミラソル 砂川隆弥
- 銅賞 ㈱Framtida 上里卓直

喫茶サービス（飲料接遇サービス）
- 金賞 照屋日路奈
- 銀賞 障害者就労センター さりやか つぼいみわ
- 銅賞 沖縄高等特別支援学校 比嘉美海

データベース（Access使用でデータベース作成）
- 金賞 障がい者ITサポートおきなわ 砂川昭人

パソコンデータ入力（アンケート入力や伝票修正等）
- 金賞 ㈱ジーマック 上原隆之介
- 銀賞 ㈱Framtida 冨里純
- 銅賞 沖縄高等特別支援学校 狩俣香蓮

表計算（Excel表作成、編集等）
- 金賞 全保連㈱沖縄本社 宮里政也
- 銀賞 ㈱Framtida 黒潮武大
- 銅賞 ソニービジネスオペレーションズ㈱ 伊敷学

ビルクリーニング（床面の掃き作業等）
- 金賞 ㈱国際ビル産業 美装部 佐久川大輔
- 銀賞 沖縄高等特別支援学校 知名敏希
- 銅賞 ㈱沖縄ダイケン 当銘陵真

フラワーアレンジメント（花の持つ特性を活かす）
- 金賞 中部農林高等支援学校 山口未鈴
- 銀賞 中部農林高等支援学校 太田守紀
- 銅賞 中部農林高等支援学校 我如古イチカ

ホームページ
- 金賞 障がい者ITサポートおきなわ 山川朝教
- 銀賞 ㈱Compass MORRILL JEAN ASUKA

オフィスアシスタント（文書の三つ折り、封入等）
- 金賞 沖縄高等特別支援学校 當銘真希斗
- 銀賞 ㈱沖縄教育出版 知念政臣
- 銅賞 やえせ特別支援学校 東恩納範子

パソコン操作（データ処理検索 等）
- 金賞 NPO法人ロービジョンライフ沖縄 石原圭
- 銀賞 ㈱Compass 比嘉幸

製品パッキング
- 金賞 沖縄高等特別支援学校陽明分教室 神里奈々
- 銀賞 やえせ高等支援学校 喜納良太
- 銅賞 やえせ高等支援学校 友利祐輝

DTP（出版物の編集やデザイン）
- 金賞 sorato 瑞慶山良
- 銀賞 ㈱Compass 宮城順子
- 銅賞 八重山特別支援学校 辻圭太

日ごろの努力の成果を存分に発揮!!

第37回全国アビリンピックの地方予選が7月22日（土）沖縄職業能力開発大学校で開催されました。アビリンピックはアビリティ（能力）とオリンピックを合わせたものであり、全国障害者技能競技大会ともよばれ、障害のある方が就職して自立するという考え方を広めるとともに、雇い主や社会全体に理解してもらうことを目的に毎年開催されています。パソコン操作やオフィスアシスタント、ビルクリーニング、フラワーアレンジメント等競技内容は多岐に渡り、全国大会進出を目指して多くの参加者が日ごろの訓練の成果を発揮しました。予選の結果、優秀な成績を収めた技能者は、沖縄県代表として11月17日（金）～11月19日（日）の3日間開催される「とちぎ技能五輪・アビリンピック2017」へ出場します。来年2018年にはおきなわ技能五輪・アビリンピック2018（第56回技能五輪全国大会／第38回全国アビリンピック）として沖縄県で全国大会が初開催されることもあり、県代表選手の全国の舞台での活躍が期待されています。

平成30年11月 沖縄で開催！
第56回技能五輪全国大会
第38回全国アビリンピック

沖縄県障害者雇用優良事業所・優秀勤労者表彰

9月14日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターにて、平成29年度沖縄県障害者雇用優良事業所・優秀勤労者表彰式が行われました。

障害者を積極的に雇用している事業所、長年勤続し他の模範となる障害者が表彰されました。

- 沖縄県知事賞
  - ◎優秀勤労者 津波 夏樹さん（有限会社トン豚フーズ）
  - ◎障害者雇用優良事業所 株式会社琉球デリカサービス
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 理事長努力賞
  - ◎障害者雇用優良事業所 ANA沖縄空港株式会社

働く笑顔に会いに行く

真面目で明るいムードメーカー。

平成29年度 優秀勤労者 沖縄県知事賞

有限会社トン豚フーズ
津波 夏樹さん

有限会社トン豚フーズは主に食肉加工を手掛けている企業です。名護市にある工場では47名の従業員が雇用されており、そのうち8名が障がいを持っています。その中でももっとも勤続年数が長いのが津波さんです。平成14年に働きはじめてからこれまでの間ほぼ無遅刻・無欠勤で、真面目で明るい性格から作業現場のムードメーカーとなっています。

おもな仕事は肉を詰める箱の組み立てとなっており、その作業スピードは他の従業員では真似できないほどで、現場でも一目置かれる存在です。

コミュニケーションは得意ではないといいますが、仕事は楽しいかという質問に「はい！」と力強いガッツポーズを見せてくれました。

入社以前より関わってきている障がい者就業・生活支援センターディーダ&チムチムのジョブコーチは「はじめのうちはなかなか仕事に慣れることができず、突然大声を上げたり走り出したりすることもあったが、作業内容や注意事項を絵に描いたカードを使い視覚的にルールを身に着けることで、今ではほとんどミスもなく、立派に会社に貢献している」と話します。

毎日バスで出勤し、休憩時間には職場のみなさんと和気あいあいと、充実した日々を過ごしているそうです。

優秀勤労者が働く企業の声

有限会社トン豚フーズ
代表取締役
外間 靖さん

10年以上津波さんを見守ってきた有限会社トン豚フーズ外間靖代表取締役は、「ほとんど仕事に穴を空けることのない彼が授賞式のために現場を離れたときは、ふたりがかりでカバーをした」と、もはや会社にとってなくてはならない存在だと話します。

几帳面な性格から、作業の遅れで休憩時間が前後したり作業工程に変更が出たりといったイレギュラーな状況に対応しきれないこともあったといいますが、細かい修正や変更にもすこしずつ対応できるようになり、今では率先して他の従業員の仕事を手伝うまでになっています。

「想像以上の成果を出してくれるから、こちらもついさらに要求をしてしまいたくなるが、本人のペースに合わせてともに成長していければ」と、今後の成長に期待を寄せていました。

障害者雇用の広がる！

9月は「障害者雇用支援月間」です。
月間に際し、様々な機関が行った障害者雇用支援のための行事をご紹介します。

特別支援学校就業支援キャンペーン
平成29年9月7日（木）

沖縄県飲食業生活衛生協同組合、パシフィックホテル沖縄、沖縄グランメールリゾート、オムファム株式会社（PETBOX）、中城みなみ保育園等多岐にわたる企業を訪問し、雇用の養成、意見交換を行いました。

県教育委員会主催による特別支援学校就業キャンペーンが9月7日（木）に開催されました。県庁県民ホールでの出発式では、行政担当者、父兄、生徒代表がそれぞれに挨拶。終了後は行政、学校、PTA等の関係者22名が専用バスに乗り込み、雇用の拡大を求めて県内企業を訪問しました。

障がい者就職面接会
平成29年9月14日（木）

9月14日（木）宜野湾市の沖縄コンベンションセンターにて、障がい者就職面接会が行われました。

障がい者の雇用拡大を目的に、9月の障がい者雇用支援月間に合わせて沖縄県、沖縄労働局、ハローワーク等により毎年開かれているもので、今年度は49の企業が参加しました。求職者と企業担当者が顔を合わせてじっくりと話をする貴重な機会ということで、面接希望者が多数参加し、各ブースでは事業内容や雇用条件について説明・対話が行われました。この日のために面接の練習を積んできたという参加者も多く、職を求める障がい者にはもちろん、採用を希望する企業にとっても有意義な一日となりました。

トーク 経済団体に対する障害者雇用要請
平成29年9月6日（水）

沖縄県や沖縄労働局等が県経営者協会をはじめとする経済団体の代表に対して障がい者雇用への積極的な働きかけを要請しました。

平敷昭人教育長は、県知事等による要請書を県経営者協会の安里昌利会長に手渡し、「障がい者の雇用機会は年々増加しているがいまだ充分とはいえない」として、よりいっそう障がい者の雇用拡大への努力を求めました。鏡が丘特別支援学校高等部3年の宮里宙夢（ひろむ）さんが、「就職して家族に恩返しをしたい。自立して生きていく夢を叶えたい」と学生を代表して呼びかけを行い、これを受けた安里会長も「人材不足にあえぐ企業のため力を貸してほしい」と雇用拡大への意欲を表しました。

障害者等雇用啓発セミナー

参加者募集!!

入場無料 ※要予約

精神・発達障害者の「採用から定着」を考える
～企業の取組みから～

日時 2017年11月29日(水) 9:40～12:40（9:20受付開始）

場所 ピーズスクエア 浦添市西原 2-4-1

お問合せ先／(株)琉球新報開発事業・企画部 tel:098-865-5533 担当／砂川

障害者雇用に関する支援策

1 特定就職困難者雇用開発助成金

障がい者などの就職困難者をハローワーク等の紹介により継続して雇用する労働者（一般被保険者）として雇い入れる事業主に対して賃金相当額の一部の助成を行います。

【お問合せ先】最寄りのハローワーク

2 職場適応訓練

障がい者を作業環境に適合を容易にさせることを目的として職業訓練を実施し、訓練終了後は当該事業所に雇用させることを目的とした制度です。事業主に対しては訓練委託費（訓練生には訓練手当へ月額2万4千円程度、訓練生1名につき月額10万6千円程度）が県から支給されます。

【お問合せ先】沖縄県商工労働部雇用政策課 ☎098(866)2324

3 障害者トライアル雇用奨励金

ハローワーク等の紹介により、障がい者を短期間（原則3カ月）試行的に雇用することにより、企業及び労働者相互に理解を深めていただき、その後の常用雇用への移行や雇用のきっかけ作りを図ります。実施事業所には、対象労働者1人につき、1カ月あたり4万円が最大3カ月支給されます。

【お問合せ先】最寄りのハローワーク

4 ジョブコーチ支援事業

職場内での人間関係や作業習得などに課題を有する知的障がい者、精神障がい者等に対して、その課題の解決、適応性の向上を目的に職場適応等援助者（ジョブコーチ）を事業所に派遣し、障がい者、事業主双方に必要な援助を行います。派遣期間は1～7カ月間で、事業主・障がい者の費用負担はありません。

【お問合せ先】沖縄障害者職業センター ☎098(861)1254

5 障害者雇用納付金制度による障害者雇用調整金、報奨金の支給

●常用労働者が100人を超える事業主
（平成27年4月より）
法定雇用率2%を超えて障がい者を雇用している場合、2%を超えて雇用している障がい者1人当たり月額2万7千円を支給。

●常用労働者が100人以下の事業主
（平成27年4月より）
（各月ごとの常用労働者数×4%）の合計数が72人を超えて雇用している場合、一定数を超えて雇用している障がい者1人当たり月額2万7千円を支給。

【お問合せ先】
独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄支部 高齢・障害者業務課 ☎098(941)3301

事業主向け雇用相談窓口

ゲッジョブ相談ステーション
平日9時～17時（土日祝日休み）
電話／098(941)2044
〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-15-10
旧ろうきん本店1F（ゲッジョブセンターおきなわ内）

働く仲間として共に日々努力

平成29年度 障害者雇用優良事業所 沖縄県知事賞

株式会社琉球デリカサービス
管理課長
髙窪 薫さん

琉球デリカサービスはおもに食品製造・加工を手掛けており、創業当時から障がい者雇用に力を入れてきました。270名の従業員のうち15名が障がい者であり、製造スタッフとして機器の管理等を担当しています。「食品を扱ううえでもっとも重要なのは衛生管理。使用機器の分解・洗浄・組立は毎日欠かせない作業であり、正確性が求められる」と人事を取り仕切る髙窪薫管理課長は語り、いっさいの手抜きをすることなくていねいに機器を扱う従業員に絶大の信頼を寄せています。

琉球デリカサービスでは、年功序列ではなく成果制度を導入しており、勤務態度や能力に応じて給料が上がる仕組み。障がいを持つ従業員にも同様のシステムが適用され、スキルアップに比例して給料が上がっていくということで、従業員のモチベーション向上にもつながっているといいます。

「ハンディキャップを背負っているからといって、決して特別扱いはしない。ひとつの企業で働く仲間として、ともに生産性向上のため日々努力している」と髙窪課長は話します。今回の受賞にあたり、「特別立派なことをしているつもりはなかったから、受賞の一報を受けて驚いたというのが正直な感想。障がい者雇用率を満たすことではなく、あくまでもよい会社を作ることが目的。人材不足が深刻ななかで、障がいを持っても労働意欲のある人材はありがたい存在。ジョブコーチのきめ細かいサポートもあり、信頼して仕事を任せることができる」と話しました。